

現代政治制度分析 I

科目ナンバリング POL-303
選択必修 2単位

川人 貞史

1. 授業の概要(ねらい)

現代政治制度分析では、政治アクターが活動する制度的コンテキストを提供するさまざまな政治制度について分析します。政治制度は効用最大化をめざす政治アクターに対して制約条件として機能します。現代の大規模民主政治においては、有権者が直接参加する直接民主政治を実現することは不可能であり、間接民主政治が必然です。現代政治制度分析 I では、特に議院内閣制に焦点を当て、そこにおける有権者から議員へ、議員で構成される議会から内閣へ、首相から各大臣へ、大臣から行政官僚制へと行われる委任と責任の関係について考察します。民主的政治制度としての議院内閣制を大統領制と対比してその制度的特徴の違いを説明します。さらに、日本を事例として、議院内閣制の諸制度について概説します。

2. 授業の到達目標

- ①現代民主政治における政治制度の役割について、理解します。
- ②現代日本の政治制度についての理解を深めます。
- ③政治制度の制約の下で政治アクターがどのように行動するかについて理解します。

3. 成績評価の方法および基準

授業の各回における出席および随時実施するミニ課題の回答(50%)、授業内試験(50%)にもとづいて評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

川人貞史 『議院内閣制』2015年 東京大学出版会
その他は授業で適宜指示します。

5. 準備学修の内容

講義前に、テキストの該当箇所を読んで予習してきてください。事前に読んでわからなかったことは積極的に質問するようにしてください。

講義後には、とったノートを読み返し、自分のまわりの政治現象について政治学的な考え方を応用してみましょう。

テキストを読まなければ、講義に出席しても、期末の授業内試験を受験しても、よい評価で単位を取得することは、むずかしいです。

6. その他履修上の注意事項

秋学期の現代政治制度分析 II も履修してください。

自分で自ら考える習慣をつけるようにして、自分が日頃ニュースやネットなどで触れる政治について疑問を持つようにしてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 政治制度とは何か
- 【第3回】 各国で異なる議院内閣制の作動
- 【第4回】 議院内閣制の起源と発展
- 【第5回】 議院内閣制の特質
- 【第6回】 委任と責任の連鎖
- 【第7回】 戦前日本の内閣制度
- 【第8回】 1947年の議院内閣制
- 【第9回】 戦後日本の政治過程
- 【第10回】 1990年代以降の議院内閣制
- 【第11回】 内閣の存立と議会
- 【第12回】 信任関係
- 【第13回】 解散
- 【第14回】 立法と2院制
- 【第15回】 まとめと授業内試験